

会社名 株式会社ダイワテック

債券名称 第 30 回無担保私募債（サステナビリティ・ボンド） レポーティング

（2021 年 3 月末時点）

1. 2021 年度資金充当状況レポーティング

資金使途	充当額
レンタル用のソーラーシステムハウスの製造資金	5,250 万円
2021 年 12 月時点充当額	5,000 万円
第 30 回無担保私募債 資金調達額	5,000 万円
自己資金充当額	250 万円
2021 年 12 月時点未充当残高	0 万円

2. インパクト・レポーティング

	環境改善効果に関する指標	社会的便益に関する指標
アウトプット	適格プロジェクトとして製造されたソーラーシステムハウスの棟数 15 棟	適格プロジェクトとして製造されたソーラーシステムハウスの棟数 15 棟
アウトカム	適格プロジェクトによって削減された CO2 排出量（出力規格等に基づく理論値） 12.2t-CO2/年 = 121.2(※1)×0.73 (※2) ×365×0.379(※3) (1 棟当たり、0.82t-CO2/年)	上記サービスが提供され得る対象の数 避難所として利用の場合：15 世帯 充電スポットとして利用の場合：一日当たり充電可能な掲題電話の利用人数 = 15×300 = 4,500 台以上※4 災害拠点として利用の場合：利用可能な拠点数 15 箇所
インパクト	2050 年までにソーラーシステムハウスの総保有棟数を 2,000 棟とし、年間 3,200,000kg-CO2 の削減に貢献。	・地域防災の強化 ・避難生活者の避難環境改善

※1 15 棟×ソーラーパネルの発電量（0.36kW×6 枚）×年平均の名古地区日射量（3.74）

※2 NEDO 発表による発電量に対する損失係数

※3 中部電力での平均調整後排出係数（2021 年度）

※4 1 日 3kWh 使用時に 10Wh（5V 2A）のスマートフォンの充電可能棟数として試算

以上